

## 《研究課題名》

就労集団における転倒要因の検討：観察研究

## 《研究対象者》

以下のすべての条件を満たす方が対象となります。

- ・2017年1月1日～2026年5月31日の期間中に、既存情報提供機関である平和堂健康保険組合の被保険者本人で、職場の健康診断を1回以上受診された20歳以上の方（健康診断年4月1日現在）
- ・学術機関への毎年の特定健康診査（健康診断）・がん検診のデータ提供について、健診時の受診票にて同意が得られた方

## 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の健康診断情報等を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明しての個別の同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。なお、本研究への情報の提供を拒否される場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

### （1）研究の概要について

《研究課題名》 就労集団における転倒要因の検討：観察研究

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日（2024年8月27日）～2029年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学実践看護学講座 宮松直美

### （2）研究の目的、意義について

#### 《意義》

みなさまは、高齢者に比べると転倒することは少ないかと思います。けれども、就労世代でも、つまずいたり滑ったりして転倒した際に、介護を要するような大ケガにつながりかねないことが知られています。就労世代の転倒は、ご自身の健康や生活の質（QOL）だけでなく、ご家庭での役割や、収入の問題にもつながりかねず、その対策はたいへん重要です。ところが、これまでの転倒研究の多くは高齢者を中心に行われており、就労世代の研究は非常に少ないのが現状です。本研究では、就労世代における転倒予防対策の提言を目指します。

#### 《目的》

本研究では、視力低下や貧血をはじめとする健康上の問題が、転倒発生に影響するかについて調べること、また、健康問題の改善により転倒しにくくなるかを検討すること、の2つを目的としています。

### （3）研究の方法について

#### 《研究の内容》

健康診断時の検査結果、問診の内容、医療機関受診状況等を平和堂健康保険組合がとりまとめ、電子データとして整えます。滋賀医科大学は、この電子データの提供を受け、統計的手法を用いて分析するために利用します。

#### 《利用する情報の項目》

2017年1月1日～2026年5月31日の期間にかかる

- ・法定の特定健康診査の項目に準じた検査項目ならびに問診情報
  - ・平和堂健康保険組合が業務に用いている医療機関受療情報（診療報酬明細書：レセプト情報）
  - ・転倒をきっかけに骨折して受療した場合の、負傷事故原因調査の情報
- データ提供元の情報管理者：平和堂健康保険組合・川上絵美子（事務長）

《情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名》

平和堂健康保険組合 理事長：永井敬一

《情報の提供を受ける機関の名称》

国立大学法人 滋賀医科大学

《提供する情報の取得の方法》

平和堂健康保険組合の業務データとしてすでに取得されている情報

《情報の提供方法と提供開始予定日》

CD-ROM でデータ提供（提供開始予定日：2024年11月1日）

《提供する情報を用いる研究に係る研究責任者の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称》

研究責任者：宮松直美

研究機関名：国立大学法人 滋賀医科大学

《情報を利用する者の範囲》

研究責任者：宮松直美

研究機関名：国立大学法人 滋賀医科大学

既存情報提供機関名称：平和堂健康保険組合

既存情報提供機関担当者名：川上絵美子

《情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

《本研究に用いた情報の二次利用について》

この研究で有用な知見が得られた場合、今回ご提供いただいた情報を用いて、さらに転倒の要因等を明らかにする研究の実施を予定しています。このような新たな研究で使用する際は改めて改めて平和堂健康保険組合と、滋賀医科大学倫理審査委員会の承認を得た上で、滋賀医科大学医学部附属病院のホームページ（<https://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/ethics/index.html>）にてその旨についての情報を公開させていただきます。

**（4）個人情報等の取扱いについて**

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用のIDを付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたとIDを結び付けることができるような加工をした情報を平和堂健康保険組合に残します。滋賀医科大学では、個人を識別できないよう加工された情報のみの提供を受け、データは施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

**（5）研究成果の公表について**

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

**（6）研究計画書等の入手又は閲覧**

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧するこ

とができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

**（７）利用又は提供の停止**

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に提供することについて、拒否することができます。拒否を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。データ提供拒否の意思を表明することができます。拒否により、不利益を被ることはありません

**（８）本研究に関する問い合わせ先**

**《情報提供の停止に関すること》**

平和堂健康保険組合 事務長 川上絵美子

住所：522-8511 滋賀県彦根市西今町 1

電話番号：0749-23-6930

**《研究の内容に関すること》**

滋賀医科大学 実践看護学講座 宮松直美

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2437

メールアドレス：hqahn@belle.shiga-med.ac.jp